

- 問1 兵庫県の産業統計において、特定の地域では化学工業の製造品出荷額が非常に高い一方で、別の地域では繊維工業が地場産業として根付いています。このような産業分布が形成された背景と現状に関する記述として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 海外への輸出を縮小し、国内市場のみに特化するために、石油化学コンビナートを内陸部へ移転させる政策が進んでいる。 | 2. 内陸部の急峻な地形が石油精製施設の建設に適していたため重化学工業が発達し、臨海部では砂浜を利用した繊維の天日干しが行われている。 | 3. 臨海部は原料の輸入や製品の出荷に便利のため重化学工業が発展し、内陸部では歴史的背景を持つ繊維工業をブランド化して成長させている。 | 4. 兵庫県は伝統的工芸品の指定数が全国で最も多いため、すべての地域で重化学工業よりも繊維工業の出荷額の方が高くなっている。 |
|--|---|---|--|
-
- 問2 京都市の市街地に見られる、東西と南北の道路が直角に交わるように規則正しく配置された街並みの形態を何と言いますか。 (2020年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|-----------|-----------|------------|
| 1. 碁盤目状の街路 | 2. 放射状の街路 | 3. 迷路状の街路 | 4. 同心円状の街路 |
|------------|-----------|-----------|------------|
-
- 問3 近畿地方の農業に関する統計において、ある果実の2022年の全国収穫量は合計9万6600トンであり、そのうち単独で6万4400トンを生産している県があります。全国の3分の2以上という圧倒的なシェアを誇るこの県はどこですか。 (2025年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1. 三重県 | 2. 兵庫県 | 3. 和歌山県 | 4. 奈良県 |
|--------|--------|---------|--------|
-
- 問4 大阪府の農業において、米や果実の産出額よりも野菜の産出額が高くなっている主な理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---------------------------------------|---------------------------------------|---|
| 1. 大消費地である大阪市などに近く、鮮度が求められる野菜を効率よく出荷できるため | 2. 平地が少なく傾斜地が多いため、稲作よりも野菜の段々畑が適しているため | 3. 気候が冷涼であり、夏場でも新鮮な高原野菜を生産するのに適しているため | 4. 広大な土地を活かした大規模な機械化農業により、野菜の大量生産が可能だから |
|---|---------------------------------------|---------------------------------------|---|
-
- 問5 近畿地方の南部に位置する和歌山県を中心とした紀伊山地一帯には、古くから信仰の対象とされてきた霊場と、そこへ通じる参詣道が残されています。この地域が「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界文化遺産に登録された際、その中心となった歴史的な山道の名称として正しいものはどれですか。 (2023年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------|---------|---------|------------|
| 1. さくらんぼの栽培園 | 2. 瀬戸大橋 | 3. 熊野古道 | 4. 霧島ジオパーク |
|--------------|---------|---------|------------|
-
- 問6 日本の諸地域のうち、近畿地方に位置する京阪神大都市圏の歴史的・地理的特徴について述べた文として、最も適切なものを選択してください。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 古くから国際的な貿易港を中心に発展し、現在では広大な平野部をすべて工業用地として活用することで、先端技術産業の集積地としての役割を強めている。 | 2. 中央官庁や大企業の本社が極度に集中しており、その圏域内に横浜市や千葉市、さいたま市など5つの政令指定都市を持つ、日本で最大の人口規模を誇る都市圏である。 | 3. 江戸時代から淀川などの河川を利用した水運が発達して商業の中心地となり、高度経済成長期には都市部の住宅不足を補うため周辺の山地を切り開いてニュータウンが建設された。 | 4. 東西にある2つの巨大な都市圏の中間に位置しており、自動車産業を中核とした出荷額が日本最大である工業地帯を背景に、工業と商業が密接に結びついて発展した。 |
|--|---|--|--|
-
- 問7 大阪府や兵庫県を中心とする阪神工業地帯の産業構成について述べた文として、背景や実態をふまえて最も適切なものはどれですか。 (2020年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 大規模な石油化学コンビナートが集中しており、化学工業のみに特化した構造となっている。 | 2. かつては繊維工業が中心であったが、現在は北九州工業地帯と同様に鉄鋼業の出荷額が最も多い。 | 3. 自動車産業の集積が著しく、製造品出荷額の過半数を機械工業が占めている。 | 4. 重化学工業の割合が高いだけでなく、周辺の広大な消費市場を背景に食品工業も発展している。 |
|---|---|--|--|
-
- 問8 滋賀県の農業産出額において、米が占める割合は50%を超えており、全国平均の約2割強と比較しても極めて高い水準にあります。滋賀県でこのように米作りが盛んに行われている地理的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2015年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---------------------------------------|
| 1. 県全体が標高の高い冷涼な気候であり、害虫の被害を受けにくい環境であるため | 2. 京阪神などの大消費地に隣接しているため、鮮度が重視される米の近郊農業が発展したため | 3. 土地の大部分が火山灰に覆われており、水はけが良すぎて他の作物の栽培が難しいため | 4. 琵琶湖周辺に平野が広がり、稲作に必要な豊かな水資源を確保しやすいため |
|---|--|--|---------------------------------------|
-
- 問9 三重県の志摩半島周辺に見られる、岬と湾が複雑に入り組んだ海岸地形を何と呼びますか。その名称として正しいものを選びなさい。 (2026年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|----------|---------|
| 1. 三角州 | 2. 干拓地 | 3. リアス海岸 | 4. 砂浜海岸 |
|--------|--------|----------|---------|
-
- 問10 日本の諸地域の学習において、三重県は所属する地方区分と実際の経済活動の結びつきが異なる例として頻繁に取り上げられます。三重県の県外への通勤・通学先の割合を示した資料では、滋賀県や奈良県といった近畿地方の近隣県への移動よりも、ある特定の県への移動が突出して多いことが示されています。三重県にとって最も大きな経済的結びつきを持つ、この移動先の県名を次から選びなさい。 (2021年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1. 滋賀県 | 2. 愛知県 | 3. 和歌山県 | 4. 奈良県 |
|--------|--------|---------|--------|
-
- 問11 近畿地方の各府県の産業統計において、製造業の出荷額が非常に高く、農業面では米よりも「畜産」や「野菜」の産出額が大きな割合を占めているという特徴を持つ府県はどこですか。 (2026年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|--------|--------|
| 1. 和歌山県 | 2. 兵庫県 | 3. 奈良県 | 4. 滋賀県 |
|---------|--------|--------|--------|
-
- 問12 近畿地方の各府県から大阪府および京都府への通勤・通学者数を示した統計において、京都府の状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2021年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 府内での移動が中心であるが、大阪府へ通勤・通学する人も約19万人にのぼるなど、隣接する大都市圏とも密接な関係にある。 | 2. 地理的に大阪府から距離があるため、県外への通勤・通学者のほとんどは三重県や愛知県などの東海地方へ向かっている。 | 3. 県外へ通勤・通学する人の割合が全国で最も高く、そのほとんどが和歌山県内の工業地帯へ向かっている。 | 4. 県内全域が大阪市の完全なベッドタウンとなっており、府内での就業・就学者数よりも大阪府への流出者数の方が上回っている。 |
|---|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 臨海部は原料の輸入や製品の出荷に便利のため重化学工業が発展し、内陸部では歴史的背景を持つ繊維工業をブランド化して成長させている。	重化学工業、特に石油化学工業は原料となる原油を大型タンカーで輸入するため、水深の深い港を持つ臨海部にコンビナートが形成されました。一方、内陸部では古くからの農閑期の副業や特産品を起源とする地場産業が発展してきました。近年ではこれらの地場産業が、単なる伝統の継承にとどまらず、現代のニーズに合わせたブランド戦略を展開することで、地域の経済を支えています。
問2	答え 1 碁盤目状の街路	794年に造営された平安京の都市計画に由来する景観です。中国の唐の都である長安をモデルとして、道路が格子状に整然と区画されました。現在の京都市中心部においても、この規則正しい街路が維持されており、歴史的な都市構造を象徴する特徴となっています。
問3	答え 3 和歌山県	和歌山県は日本最大の梅の産地として知られています。統計データによると、全国の収穫量の約67パーセント（約3分の2）を和歌山県が占めており、これは他の都道府県を大きく引き離す生産量です。温暖な気候や水はけの良い傾斜地が梅の栽培に適しているため、古くから大規模な生産が行われてきました。
問4	答え 1 大消費地である大阪市などに近く、鮮度が求められる野菜を効率よく出荷できるため	大阪府のような都市部では、農地面積が限られている一方で、背後に巨大な消費市場（大阪市など）が存在します。そのため、輸送距離が短い利点を最大限に活かせる、鮮度劣化の早い野菜を中心とした生産体制がとられています。これが都市近郊農業の背景にある合理的な理由です。
問5	答え 3 熊野古道	和歌山県、三重県、奈良県にまたがる紀伊山地は、険しい山岳環境そのものが信仰の対象となってきました。ここに位置する「熊野古道」は、熊野三山を参拝するために多くの人々が歩いた歴史的な道であり、2004年にユネスコの世界文化遺産に登録されました。霧島ジオパークは宮崎県と鹿児島県、さくらんぼ栽培は主に山形県、瀬戸大橋は岡山県と香川県を結ぶ施設であり、いずれも和歌山県の特徴には当てはまりません。
問6	答え 3 江戸時代から淀川などの河川を利用した水運が発達して商業の中心地となり、高度経済成長期には都市部の住宅不足を補うため周辺の山地を切り開いてニュータウンが建設された。	江戸時代の大阪は「天下の台所」と呼ばれ、淀川などの河川交通（水運）を利用して全国の年貢米や特産物が集まる商業の拠点として栄えました。明治時代以降も西日本の経済・文化の中心として発展を続けましたが、戦後の高度経済成長期に都市への人口集中が加速したことで、中心部では深刻な住宅不足が発生しました。これを解消するため、千里ニュータウン（大阪府）などに代表される大規模な住宅団地が、周辺の山や丘陵地を開発して建設されました。なお、5つの政令指定都市を持つのは東京圏、2つの大都市圏の間に位置し出荷額が日本最大なのは中京圏の特徴です。
問7	答え 4 重化学工業の割合が高いだけでなく、周辺の広大な消費市場を背景に食料品工業も発展している。	阪神工業地帯は、古くから「天下の台所」と呼ばれた大阪を中心に、人々の生活に密着した食料品や医薬品などの産業が発展してきました。重化学工業化が進んだ現在でも、パンや清酒、冷凍食品といった食料品工業の製造品出荷額が、他の中京や京浜といった工業地帯に比べて高い割合を維持している点が、入試においても頻出の重要ポイントです。
問8	答え 4 琵琶湖周辺に平野が広がり、稲作に必要な豊かな水資源を確保しやすいため	滋賀県の農業の最大の特徴は、琵琶湖を取り囲むように広がる平野部（近江盆地）での稲作です。稲作には大量の水が必要不可欠ですが、琵琶湖という巨大な水資源が身近にあることで、安定した農業用水の確保が可能となりました。また、古くからこの平野部を利用して大規模な耕作が行われてきた歴史があり、現在でも滋賀県の農業において米は圧倒的なシェアを維持しています。
問9	答え 3 リアス海岸	谷が沈降したり、海面が上昇したりすることで形成された、出入りの激しい海岸線をリアス海岸と呼びます。三重県の志摩半島のほか、岩手県の三陸海岸南部などが代表例として知られています。
問10	答え 2 愛知県	三重県は近畿地方に属しながらも、隣接する愛知県に位置する名古屋市が最大の都市拠点となっています。鉄道や道路網が名古屋方面に向けて整備されていることから、県外への通勤・通学先としては愛知県が最大となります。このように、行政的な地方区分と実態としての生活圏が一致しないケースがあることは、地理学習における重要な視点の一つです。
問11	答え 2 兵庫県	兵庫県は、阪神工業地帯や播磨臨海工業地域を含み、製造業の出荷額が近畿地方でもトップクラスです。また、農業においては広大な県域を活かし、神戸ビーフに代表される畜産や、淡路島のたまねぎなどの野菜栽培が盛んであり、単なる工業県ではなく農畜産業にも特色があります。
問12	答え 1 府内での移動が中心であるが、大阪府へ通勤・通学する人も約19万人にのぼるなど、隣接する大都市圏とも密接な関係にある。	京都府は、県庁所在地であり政令指定都市でもある京都市を抱えているため、府内での通勤・通学が大きな割合を占めます。一方で、大阪府とも経済的・交通的な結びつきが強く、19万人規模の非常に多くの人々が大阪府へ移動しているという特徴があります。これは滋賀県や奈良県などの周辺県と同様の傾向ですが、自県内での移動の多さが京都府の大きな特徴です。